

放課後等デイサービス自己評価表(公表)



公表:2024年2月1日 事業所名:放課後等デイサービスcolor樋井川教室

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	・1人になれる場所がトイレのみなので、トラブルがあった際トイレに逃げ込む、トイレからなかなか出てこない、その中で尿意を感じる子ども等その際の対応がとて難しかったです。以前あったバージョンがあれば課題作業や不機嫌の対策などに使えるのでは、と考えています。 ・各自の支援目標と照らし合わせて適宜配置の検討を行なっている。	安全に支援が行える立ち位置や、対応方法について、今一度周知する。
	2 職員の配置数は適切であるか	4	1	・足りている時もあれば利用児童によって足りない、休憩が回らない、他事業所からスタッフを借りる等々の教室も行っているのが全体的に足りていないように感じます。樋井川教室は、少ない人数で回していくことに慣れていないのではないかと感じます。本当はあともう1名ほどいた方がスタッフの負担・個々の支援を重点的に行えるような気がします。 ・会議にて、児童に合わせた支援方法、スタッフの配置を毎日話し合いをしている	余裕を持った配置ができるよう、人員確保に努めます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4	・苦情が来ているため、やはり防音対策(室内やトイレなど)をした方が良いと思います。トイレの音漏れもスタッフ一同行くのも難くしてしまうのも躊躇しにくくなりますが教室から出る訳にはいかないですし、トイレの音を聞く子どももいるので少し気がかりです。 ・樋井川教室はワンフロアで段差等もないので比較的安全であると感ずる。	吸音シートを貼る等工夫をし、防音対策を行ないます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	5		・業務開始時に支援会議を実施し、利用児の情報共有、計画や目標の確認、支援方針のすり合わせを行った上で支援にあたっています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	実施されているようですが、集計結果を元にどのように工夫されたかはわかりません。	HPIに掲載していますので、ご確認ください。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	すみません。確認しておらず、後日確認致します。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1	自身は参加した事はないが、研修の機会を作ってくださいている。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		見字や契約時に保護者様からのニーズや課題を聴取し、日々の支援の中で児童を観察、分析し、計画に反映しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	標準化されたアセスメントツールは準備されていません。仮に準備された場合も検査に適した環境の確保が困難であると考えられます。	タイミングによっては難しい場合もありますが、可能かと思います。ご不安な点はご相談ください。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2	・他業務もあるため時間を確保するのがかなり難しいが、slackを活用してできる限り情報の共有を行っている。 ・Slackで随時情報共有しながら把握し、翌朝の支援会議で当日対応するスタッフと共有しています。	次の支援会議のときに共有できれば問題ありません。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	5		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	送迎の遅延が見込まれる場合は、事前に保護者へ連絡しています。当日遅延が発生した場合は早急に学校へ連絡しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	1 医者ではなく、児童の保護者と情報共有する場合がほとんどである。	かかりつけ医の確認、連携を行なってまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2 保護者の意向を確認し、そのような機会を設けることも検討していく。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2 小中学生のご利用が多いため実績なし。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1 児童が公園に遊びに行った際に、地域の子どもたちと交流することがある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	4	1	子どもよりも大人がとてもしんどく感じます。子どものためといながら親目線や固定概念があるのでそこを少しずつ視野を広げたり前したりすることが課題になっています。
説明書等への	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	自身はしていないが、会報は発行して下さっています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	5		
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	児童への説明は短く端的に行い、理解出来ているか確認しています。保護者との意思疎通に関して、後からやりとりが確認できるようLINEを活用しています。	
非常時等	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	入職時研修で説明を受けました。	

等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1	共通認識はあると思いますが、組織的決定については私個人が十分把握できていません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			